

みずほCustomer Desk Report 2022/10/13号 (As of 2022/10/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	146.21
TKY 9:00AM	145.89	0.9702	141.59	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	146.98	0.9735	142.61	1.0970	0.6266
SYD-NY Low	145.61	0.9668	141.35	1.1131	0.6298
NY 5:00 PM	146.92	0.9702	142.48	1.0925	0.6236
	1.1099	0.6278			
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	29,210.85	▲ 28.34	日本2年債	▲0.0600%	0.0000%
NASDAQ	10,417.10	▲ 9.09	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,577.03	▲ 11.81	米国2年債	4.2932%	▲0.0188%
日経平均	26,396.83	▲ 4.42	米国5年債	4.1203%	▲0.0492%
TOPIX	1,869.00	▲ 2.24	米国10年債	3.9003%	▲0.0427%
ソコ日経先物	26,355.00	0.00	独10年債	2.3405%	0.0375%
ロンドンFT	6,826.15	▲ 59.08	英10年債	4.4100%	▲0.0370%
DAX	12,172.26	▲ 47.99	豪10年債	3.9700%	▲0.0270%
ハンセン指数	16,701.03	▲ 131.33	USDJPY 1M Vol	13.21%	1.22%
上海総合	3,025.51	45.71	USDJPY 3M Vol	12.33%	0.84%
NY金	1,677.50	▲ 8.50	USDJPY 6M Vol	12.09%	0.59%
WTI	87.27	▲ 2.08	USDJPY 1M 25RR	▲1.45%	Yen Call Over
CRB指数	279.25	▲ 2.71	EURJPY 3M Vol	13.74%	0.26%
ドルインデックス	113.32	0.10	EURJPY 6M Vol	13.63%	0.21%

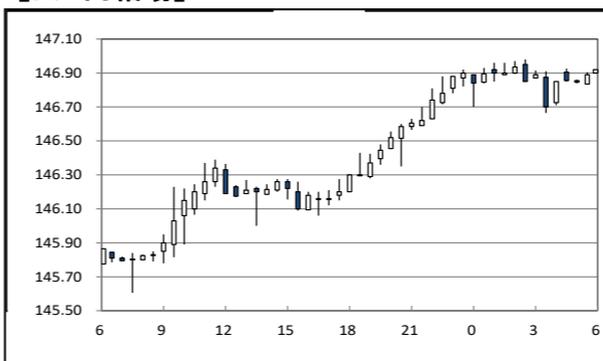
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月12日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 -1.8%/-5.2%	-0.1%/0.6%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	8月 -1.6%/-6.7%	-0.1%/1.1%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	8月 1.5%	0.7%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	9月 0.4%/8.5%	0.2%/8.4%
	21:30	米 PPI除食品・エネルギー(前月比/前年比)	9月 0.3%/7.2%	0.3%/7.3%

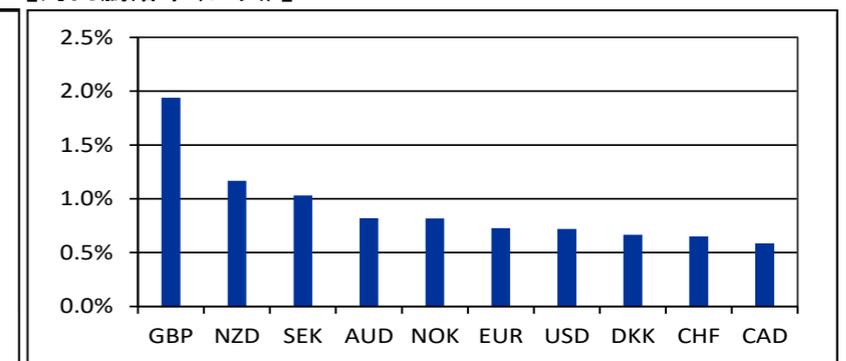
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月13日	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	9月 1.9%/10%	1.9%/10%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	9月 0.2%/8.1%	0.1%/8.3%
	21:30	米 CPI除食品・エネルギー(前月比/前年比)	9月 0.4%/6.5%	0.6%/6.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	8-Oct 225k	219k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.00-147.500	0.9670-0.9770	141.50-144.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇。日中はイングランド銀行による債券購入延長観測が報道され、上値重く推移。海外時間に入り、イングランド銀行による債券購入延長の報道が否定されると、英国金利を中心に上昇。ドル円も146円台後半までじりじりと買われる形となった。なお、この日発表された米9月PPIはサービスを中心にコストが上昇しており、予想を上回る結果に。また、9月のFOMC議事録も公表された。引き続きインフレ率を押し下げるために現在の利上げを継続することを明記した一方、悪影響も考慮し利上げペースの調整も言及されたことで米金利はやや低下となった。本日のドル円は引き続き底堅い推移を予想。昨日はPPIやFOMC議事録などの材料には全く反応せず、海外時間はじり高となった。本日発表が予定されている米9月CPI待ちといったところだろう。現在の水準は介入前のレベルを超えており、ここからは当局の反応を見ながらとなりそう。PPIなどの結果を鑑みるに本日のCPIでもインフレ率の高止まりが示される可能性が高い。引き続きドル円は底堅い推移となろう。

東京	為替介入前の高値である145.90をオアニア時間に一時上抜けて145.95まで付け、東京時間のドル円は145.89レベルでスタート。仲値前には上値トライの動きから146.39まで上昇。午後には英中銀が債券購入の延長示唆をしたと報道を受け一時145.99まで下落するもすぐに値を戻し、146.10レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、146.10レベルでオープン。ドル高地合いが継続する中、ドル円は146.63まで上昇し146.59レベルでNYに渡った。ポンドは、1.1010レベルでオープン。今週で終了する予定の英中銀による緊急国債購入についての思惑で1.10を挟んで振れる展開。同措置が延長されるとの一部噂で1.10台を回復して始まったが、逆に同措置は予定通り終了されるとのヘッドラインで1.0955まで売られる。しかしそこから反発すると結局1.1059レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は145円台後半でスタート。特段材料は見当たらなかったが、アジア時間で先月の円買い介入前の高値だった145.90レベルを上抜けると146円台に乗せ、146.39まで上昇。その後、買いが一服し、146.10近辺まで反落するも、欧州勢参入後に買いが再開し、146.63まで上昇し、146.59レベルでNYオープン。朝方はG20財務相会議に参加するため渡米している黒田日銀総裁が「物価安定目標達成のため緩和を継続する」、「欧米とはインフレに大きな違いがある」などと述べ、日米の金融政策の方向性の違いが再度意識される中、円売り・ドル買いの流れが継続。午後一時146.98まで上昇するが、14時にFOMC議事録が発表されると、明確な手掛かり材料は見当たらなかったが、売りで反応し146.70近辺まで反落。しかし、終盤に買い戻しが入り、結局、146.92レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは0.9700付近でスタート。0.9683まで下押しする場面もあったが、英紙が「BOEは14日までの実施予定となっていた国債買い入れプログラムを延長する用意がある」と報じたことを受けて買われたポンドにユーロも連れ高となり、一時0.9735まで上昇。しかし、更なる上値追いは限定的でその後は0.97レベル前半でもみ合い、0.9709レベルでNYオープン。朝方は売り優勢で0.9668まで下落するが、ラカールECB総裁がQTに関する議論を開始したことを述べる中、0.97レベル前半まで買い戻された。午後FOMC議事録発表直後にドル売りが入り高値0.9720を付ける。終盤は再び0.9700付近のレンジトレードとなり、結局、0.9702レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・逸見